

平成30年度

特 別 活 動 部

研究・実施計画

角館高等学校

今年度の重点目標	<p>1 生徒会活動の補助 2 特活関連行事の運営</p> <p>◎本年度の重点事項 生徒会活動（部活動、委員会）、特活関連行事を円滑に運営する</p>		P
実施状況・達成状況	<p>行事の運営や安全面に考慮し、次の行事を実施した。</p> <p>4月 生徒会入会式（6）、部活動勧誘期間（9～20）、生徒会委員会（13）、生徒総会（27）</p> <p>5月 県南総体壮行式（1） 全県総体壮行式（17）、</p> <p>6月 角高祭（6～20 準備期間、21 合唱・演劇、22 演劇、23 一般公開）</p> <p>7月 甲子園予選壮行式（5）</p> <p>8月 球技大会（21～23）</p> <p>9月 運動会（26）</p> <p>10月 芸術鑑賞（5）、生徒会役員選挙（26）</p> <p>1月 生徒会委員会活動（23）</p> <p>2月 スキー教室（13）</p>		D
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・行事も精選されてきていて、実施方法についても改善がなされてきている。各行事において生徒会を中心として円滑にできた。 ・PTA総会と併せて行っている県南総体壮行式に今年度も多くの保護者が参加し、生徒自身の気持ちに高まりが見られた。 ・学校祭の準備期間と進路指導部の面談期間を併せて実施し、効率的であった。 ・わらび座を会場に実施した芸術鑑賞は地域との連携を図るいい機会となった。次年度は本校体育館を予定しているが、計画・準備をしっかりと行いたい。 ・賞状伝達式のやり方を改善し、時間短縮ができて成果があった。 	評 価	C
次年度への提言	<ul style="list-style-type: none"> ・特活関連の行事について、実施要項など早めの起案をし、職員の理解と協力を得る体制を早期に築く。 ・部活動や生徒会活動などの情報発信の機会を増やし、地域に根ざした学校作りのための手立ての改善に努める。 ・学校祭期間中の部活動の在り方（特に体育館・ステージ）について検討が必要な場面がある。 ・各部活動が多く賞状をもってくるが、鉛筆書きのものが多く、筆耕してもらうのが大変である。解決策を模索していきたい。 ・8月の球技大会と9月の運動会の一本化の検討をしていきたい。 	A	A

- 【評価基準】
- A：具体的な活動がなされ目標を達成できた
 - B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない
 - C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない